

【活動主体】おこなこしまちオコシ会議

概要

船越地区の若手有志中心となって、まちおこしや諸課題への対応について協議・検討を行い、地域コミュニティの活性化にむけて実行する。

活動内容

- 船越地区には、岩瀧神社で毎年10月第3土・日曜日に開催される秋祭りがあり、かつて夜店が軒を連ね大勢の人でにぎわっていましたが、今は関係者以外に訪れる人は少なく、かつての活気はなくなっていました。そこで、現役世代を中心とした「おこなこしまちオコシ会議」を設立し、まちおこしの一環として、秋祭りの復活をめざしました。
- 地域住民が幼少の頃の思い出として残っている竹浦地区の「鬼」と現役世代の新しい発想を融合した「おこなこし秋まつり～鬼フェス2018～」を平成30年10月20日に開催しました。鬼行列や鬼コンテスト、太鼓ライブ、神社の境内を利用したプロジェクションマッピングなどを実施し、子どもから大人まで述べ約1,200人もの人で賑わいました。
- 地域のまちづくり活動の表舞台に出てこなかった新しいメンバーと、これまで地域活動の中核を担ってきたいわゆる「重鎮」とで新たなアクションを起こすことによって、秋祭りのみならず様々はまちづくり活動に新たな化学反応を起こしていきたいという熱い思いをもって活動に取り組んでいます。



活動団体と事業の概要

活動団体	おこなこしまちオコシ会議
活動場所	安芸区船越町
活動時期	4月～2月
スタッフ	12名
事業費	1年目(平成31年度): 70万円 2年目*: 90万円 3年目*: 90万円
補助金以外の主な収入	企業協賛金、出店料
主な支出	プロジェクションマッピングに係る費用(45万円)

※2年目以降は予定

ポイント

- ★ これまで地域活動に参加していなかった若者等を取り込む機会となり、事業実施に向けた協議の場や地域団体との連携を通して、今後の地域活動の担い手の掘り起こしやリーダーの育成につながることを期待されており、地域のきずなづくり、地域の魅力向上に寄与できます。